

令和5年3月27日

## 情報公開文書

研究計画「多発性硬化症の予防・病態改善・治療を目指した常在細菌叢－免疫系－神経系相互連関の研究」への研究参加に同意され、糞便および唾液試料をご提供頂いた研究対象者の方へ

表題の研究にご提供頂いた糞便および唾液試料を、新たに国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の下記研究課題に使用させていただきます。今回の試料の提供は、「多発性硬化症の予防・病態改善・治療を目指した常在細菌叢－免疫系－神経系相互連関の研究」における多発性硬化症の病態解明と予防・病態改善・新規治療開発を目的とした研究の中で、試料の遺伝学的解析の過程を国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所に委託するためのものであります。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下のお問い合わせ先までお知らせください。ご自身が提供された試料を下記研究課題に利用・提供してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出頂いた場合は、対象となる試料を下記研究課題で利用することを停止します。

### 1. 研究課題名

拠点研究機関としての常在微生物叢に関する研究

### 2. 研究責任者

國澤 純：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

ワクチンマテリアルプロジェクト プロジェクトリーダー

### 3. 共同研究機関の研究責任者

山村 隆：国立精神・神経医療研究センター 神経研究所

免疫研究部 特任研究部長

### 4. 本研究課題の目的

腸内細菌などの常在微生物叢は糖尿病などの生活習慣病やアレルギー、がんなどの様々な疾患と関連することが報告されており、その機能や役割が注目されています。常在微生物の研究は次世代シーケンサーを用いたゲノム解析が主流となっていますが、糞便などの試料からのDNA調整手法が特殊であること、装置が高額であること、熟練した解析技術が必要となること等から、誰でも簡単に導入できるシステムではありません。そこで本研究課題では、医薬基盤・健康・栄養研究所が有する常在微生物叢のためのサンプル調整法と次世代シーケンサーを用いた常在微生物叢の解析技術を用いて、他施設における常在微生物研究のサポートを行うことを目的としています。

## 5. 試料の収集期間および研究期間

2018年8月から2022年3月までの期間に採取（収集）した糞便および唾液を研究対象としています。本研究課題の研究期間は2018年倫理委員会承認後から2028年3月31日までです。

## 6. 研究の方法

- ① 研究対象者：上記期間内に表題の研究参加に同意され、試料をご提供頂いた方
- ② 本研究課題で利用する試料の項目：糞便、唾液
- ③ 研究方法の概要：医薬基盤・健康・栄養研究所において、試料から常在微生物のDNAを抽出し、遺伝学的手法を用いて常在微生物叢を解析します。また、抽出したDNAおよび解析結果は国立精神・神経医療研究センター(以下、NCNP) 神経研究所に返送され、表題の研究に用いられます。

## 7. 試料の提供について

試料は宅急便もしくは研究者の持参によって、神経研究所から医薬基盤・健康・栄養研究所に送付されます。医薬基盤・健康・栄養研究所で試料からDNAを抽出し、解析を行った後、NCNP 神経研究所に抽出したDNAと解析結果を返送します。

## 8. 個人情報の取り扱い

個人情報は神経研究所で匿名化されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所では個人情報を取り扱いません。また、研究成果を学会や論文等で公表する際には個人が特定できないようにします。

## 9. お問い合わせ先

国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部  
特任研究部長 山村 隆  
〒187-8551 東京都小平市小川東町4-1-1  
電話 042-341-2712

医薬基盤・健康・栄養研究所ワクチンマテリアルプロジェクト  
プロジェクトリーダー 國澤純  
〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
電話 072-641-9871